



土曜おもしろミュージアランドって？



水子貝塚資料館では、年間を通じ「土曜おもしろミュージアランド」というイベントを開催しております。基本的に第1・3土曜日に開催しているこのイベントは、水子貝塚公園に親しんでもらい、縄文時代への理解を深めてもらおうと様々な内容を取り揃えております。

6月までに行われていた企画展「縄文土器をみる」に関連し、4月は「網代編みのコースター」、5月に「ミニチュア土器づくり」を開催いたしました。企画展では、土器の底部に残された痕跡を展示しており、ミュージアランドでは自分の手でその痕跡の再現に挑戦してもらいました。

まず、「網代編みのコースター」では「アズマネザサ」という植物から素材を作る体験をしていただきました。素材を作る作業はみなさんにも楽し

んでいたのですが、いざ「網代編み」でコースターを作るとなると作業はなかなか難しかったようで、遺物から見て取れる縄文人の巧みな技に感心する声もありました。

続いて5月に行われた「ミニチュア土器」は毎年人気のイベントです。4月に作ったコースターを使い土器の底部に圧痕をつけてもらいました。網代編みのコースター以外にも、木の葉っぱを底に敷いた木葉痕をつけたりして、みなさん思い思いのミニチュア土器を作成していただきました。

7月には、縄文時代から利用されていた「カラムシ」という植物を使いました。「おひき」という繊維をはぎ取る作業から体験し、ランプシェードを作りました。イベントを通して、当時の植物利用について考えていただけたように思います。



水子貝塚公園の夏は、ここにくらす昆虫の活動が最も盛んな季節ですが、甲虫の仲間で、通称カシナガと呼ばれる、カシノナガキクイムシという厄介者の繁殖期で、成虫の出現期でもあります。

カシナガはブナ科の生きた樹木に穿孔し、自分で数種の菌（キノコの仲間）を運び込んで植え付け、成虫も幼虫も、この育った菌を食べるという、人に例えると農耕のようなことをします。

このカシナガが食物とする菌の主要なものがナラ菌と言われ、主にコナラやミズナラで繁殖しやすく、ナラ枯れの原因となる菌です。

ナラ菌が繁殖すると樹木が水を吸い上げる道管を詰まらせ、枝や葉に水分が届かなくなり、そこにつながる部分の枝が枯れてしまいます。

困ったことに、カシナガは最初に穿孔したオスがフェロモンで仲間を集め、大群で 1 本の木に穿孔することが多く、そうすると、枝だけでなく木全体がナラ菌に侵され、ナラ枯れが起こります。高齢な木ほどカシナガが大群になりやすい特徴があります。ナラ枯れが起こると次に、ナラ菌に置き換わって、木材腐朽菌が繁殖し、材部は腐り、枝が落ち、やがては根元から幹ごと倒れます。

そのような倒木を防ぐため、カシナガの穿孔が確認された木にはトラップでの捕獲や、樹幹への出入りを防除するネット巻き等の対策をしています。また、ナラ枯れが起きた場合は拡大防止のためにカシナガの入った木を伐採処分します。

カシナガは木の幹の 3 メートル以下の低い位置に穿孔するのですが、幹に止まり損ない落下し、地表近くの幹や、露出した根に穿孔する個体が多く、木全体が枯れなくても、根が弱ることで倒木被害が起きることがあります。

その原因の一つが人の活動です。本来、コナラやクヌギの根は地表に露出することはほぼありません。人が林内を歩くことで、土が削られて根が露出し、踏み固められて水を吸わなくなった地表を川のように雨水が流れ、柔らかい土を流し、さらに根を露出させます。露出した根を人が踏み、傷つけば昆虫や木材腐朽菌の侵入を許し、木を支える根が枯れ、全体のバランスを崩します。人が木の根元を掘れば、地中深くの主根にまでカシナガが入り、数年後には根が腐ります。

表面的には枯れていない木でも、根や材部が腐っていることは多くあります。主根が腐り、幹を支える力が弱っているのに、生命活動を行う外周部が生きていて、青々とした葉を茂らせているため外見では判らないのです。

このような木は、風雨が強くなると茂った葉が水を乗せて重くなる上に、風をまともに受け止めるので、耐え切れず倒れる危険があります。また、昆虫採集で木を蹴られるのも危険になる場合があります。

資料館では、倒木被害等を防止するため、注意喚起の掲示をはじめ、園内の見回り・声掛け、落ち葉の敷き詰め、木の根元への土寄せなどの対策を行っています。園内の樹木は、来園者の皆様の協力のもと資料館が管理している大切な市の財産です。園内を掘削したり、樹木を乱暴に扱ったりすることのないよう、皆様のご理解とご協力を改めてお願い致します。



カシノナガキクイムシ



コナラの根系



ナラ枯れしたコナラ



くりやつ 栗谷ツ遺跡出土の「スタンプ形石器」 がたせっき

暑い日が続く季節でも、針ヶ谷一丁目の栗谷津公園では豊かな湧き水を見ることができます。この公園の北隣りに位置するのが栗谷ツ遺跡で、資料館で展示している「スタンプ形石器」はこの遺跡から出土したものです。

スタンプ形石器は、河原に転がっているような丸みのある石を、まるで輪切りにするように中ほどから打ち割ってつくられた石器です。その見た目から「スタンプ形」という名前で呼ばれていますが、現代のスタンプ（ハンコ）とは異なる道具だったようです。

スタンプ形石器の割れ面には磨り減ったような痕跡が残っていることがあるため、割れ面を使って植物などを叩いたり、磨り潰したりした道具だったと考えられています。

「^{たたきいし}敲石」や「^{すりいし}磨石」といった石器も、ものを叩いたり、磨り潰したりするために用いたと思われる石器ですが、これらが石の丸みのある自然面を利用するのに比べて、スタンプ形石器では平らな割れ面を利用するという違いがあります。

スタンプ形石器は、縄文時代早期前葉（約11,500～10,000年前）に多く出土する石器です。この時期を過ぎると出土量が減少してしまい、縄文時代中期にはごくわずかに出土するのみ、縄文時代後期になると出土しなくなります。

資料館で展示している中では1，2を争うほど^{じみ}地味な見た目をしている遺物ですが、その用途や出現と消滅に謎を抱えた、ミステリアスな一面も持っている石器です。



6月28日に「縄文の森コンサート」を開催いたしました。平成12年から開催されているこのイベントも、今年で22回目を迎えました。

今年はサックス四重奏でご活躍されているアンサンブル キラン Ensemble Kiranさんをお迎えし「サックスで奏でる日本の名曲～心に響く懐かしいメロディ～」と題し、サックスで皆さんの親しみやすい楽曲を奏でていただきました。サックスの四重奏を聞いたことがないというお客さんも多くいらっしゃいましたが、皆さん大変楽しまれていました。

来年はどのような演奏になるか今から楽しみにしていただければと思います。

8～10 月のイベント予定

* イベント予定は変更することがあります
最新の情報は広報富士見か公式サイトで

水子貝塚 星空シアター

日時 9月5日(土)

15:00～20:30

※雨天の場合は9月6日(日)に順延

内容 ステージ・縄文体験・模擬店

映画「ボス・ベイビー ファミリーミッション」

上映 18:30～

ツリークライミング®体験

日時 9月13日(日)

10:00/12:15/13:50

参加費 子供 2000 円

大人(19歳以上) 2500 円

定員 各回10名

申込み 8月9日(日) 9:00～

電話・窓口にて受付開始

縄文の森観察会(秋)

実りの秋を迎える水子貝塚公園内を当館職員と
一緒に観察します。

日時 10月10日(土)

13:00～14:00

場所 水子貝塚公園内説明広場集合

定員 15名(当日先着順)

ふじみジュニア考古学クラブ

全5回の日程で、富士見市にある遺跡や
発掘調査の方法などを楽しく学びます。

目指そう! 未来の考古学者!

日時 10月24日(土) 13:00～15:00

10月31日(土) 9:30～12:00

11月14日(土) 9:30～15:00

11月28日(土) 13:00～15:00

12月13日(日) 9:30～12:00

参加費 200 円

定員 15人(先着順)

対象 小学4年生～6年生

申込み 9月26日(土) 9:00～

電話・窓口にて受付開始

夏休み(7/20～8/23)期間中は

平日も!

体験! いつでもセブン

開催中! ぜひご参加ください!

※詳しい開催カレンダーはHPをご覧ください

※夏休み中、ウッドクラフトやっています!

土曜おもしろミュージランド

会場 水子貝塚資料館内 体験学習室他

時間 午前10時～、午後1時30分～

受付は各30分前より

各1時間～2時間程度

定員 各回15人(当日先着順)

対象 小学生以上

(未就学児は保護者同伴で可)

日程	内容(参加費)
8月1日	まが玉づくり中級編 子持ちまが玉(200円)
9月19日	草花のたたき染め(100円)
10月3日	縄文ポシエット(100円)
10月17日	土笛(100円)

※子持ちまが玉は、まが玉づくり経験者がチャレンジできます!



発行日 令和8(2026)年7月31日

編集・発行 富士見市立水子貝塚資料館

国指定史跡 水子貝塚公園内 〒354-0011 埼玉県富士見市大字水子 2003-1

水子貝塚資料館

検索

資料館 HP
二次元コード

☎ 049-251-9686

FAX 049-255-5596

